



# 令和 8 年度兵庫県中播磨県民センター 重要施策（案）

令和 8 年 2 月

## 目指す姿

「多様な地域に個性（ひと）が輝く中播磨」を目指し、4本柱にて施策を展開

### I 多様な人が行き交う「交流」中播磨 39,038千円

銀の馬車道やフィールドパビリオン等の中播磨地域の豊かな魅力を巡る「+1<sup>プラスワン</sup>」ツーリズムを促進し、一層のにぎわいを創出

### II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨 15,073千円

公民連携による地域課題の解決や、脱炭素化に向けた取り組みの推進、若者等へのチャレンジの支援により、地域に新たな活力を生み出す

### III ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨 13,754千円

地域団体等の活動支援や、地域ぐるみで支え合う暮らしの推進により、住み慣れたまちで誰もが安心して健やかに生活できる地域づくりを推進

### IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨 15,225千円

安全安心な暮らしの推進や、子どもたちの郷土愛の醸成、豊かな自然の維持・保全等に取り組み、「ふるさと」中播磨を次の世代に受け継ぐ

R8年度地域躍動推進費 計83,090千円

| 多様な人が行き交う「交流」中播磨

## 【拡】完成から150年 銀の馬車道沿線の魅力発信等：13,575千円

姫路城 + 1 の周遊観光を目指し、中播磨のグルメや歴史遺産といった様々な観光資源をPRする。加えて、銀の馬車道完成から150年という節目の年を迎えることから、これを記念し様々なイベント等を実施することにより、地域外からの誘客を促す。

### 事業内容

#### 【新】1 銀の馬車道グルメ手帖で49Kmの味覚を楽しもう

播磨と但馬をつなぎ銀の馬車道完成を契機に両地域の文化や食の交流がはじまったことを記念し、沿線にある飲食店等（銀馬車関連メニューを提供している店舗を含む）49店舗を掲載したクーポン付き冊子を作成し、他地域からの誘客を促す。

（銀の馬車道ネットワーク協議会総会承認後実施）

#### 【新】2 絵本イラストコンテストの実施

令和7年度に公募した銀馬車かぼちゃシナリオコンテスト最優秀賞作品を基にした絵本を作成するため、挿絵となるイラストを募集する。完成した絵本は、沿線の小学校等に配布

（銀の馬車道ネットワーク協議会総会承認後実施）



Ⅰ 多様な人が行き交う「交流」中播磨

## 【拡】完成から150年 銀の馬車道沿線の魅力発信等：13,575千円

### 事業内容

#### 3 メディア（ラジオ、SNS等）を活用したサイクリングPR

ラジオやSNS等を活用し、沿線地域の観光資源を一つのストーリーでつなげ、その交通手段としての自転車の魅力をPRする。合わせてスポーツサイクリング愛好者に向けては、ひょうごサイクリングモデルルート「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」の魅力をPR（日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会総会承認後実施）

#### 4 見て・触れて楽しむ「銀の馬車道」

各種観光イベントにおいて、銀の馬車道公式キャラクターに扮したポニーを登場させ注目を集め。また、キャラクターの情報をSNSで発信することによりフォロワー数のさらなる増加を図る。



ラジオ取材の様子



公式キャラクターに扮したポニー

## I 多様な人が行き交う「交流」中播磨

### 【新】播但貫く、フィールドパビリオン「周遊型・謎解きスタンプラリー」（仮称） (但馬県民局との連携事業) [地域の持続力強化：8,210千円]

中播磨全域への誘客を図り、地域の持続力を強化するため、ひょうごフィールドパビリオンや、銀の馬車道関係施設、観光施設への来訪・体験型コンテンツの利用による滞在時間の延長や観光消費額の向上、播但線の利用を促進する取組を展開する。

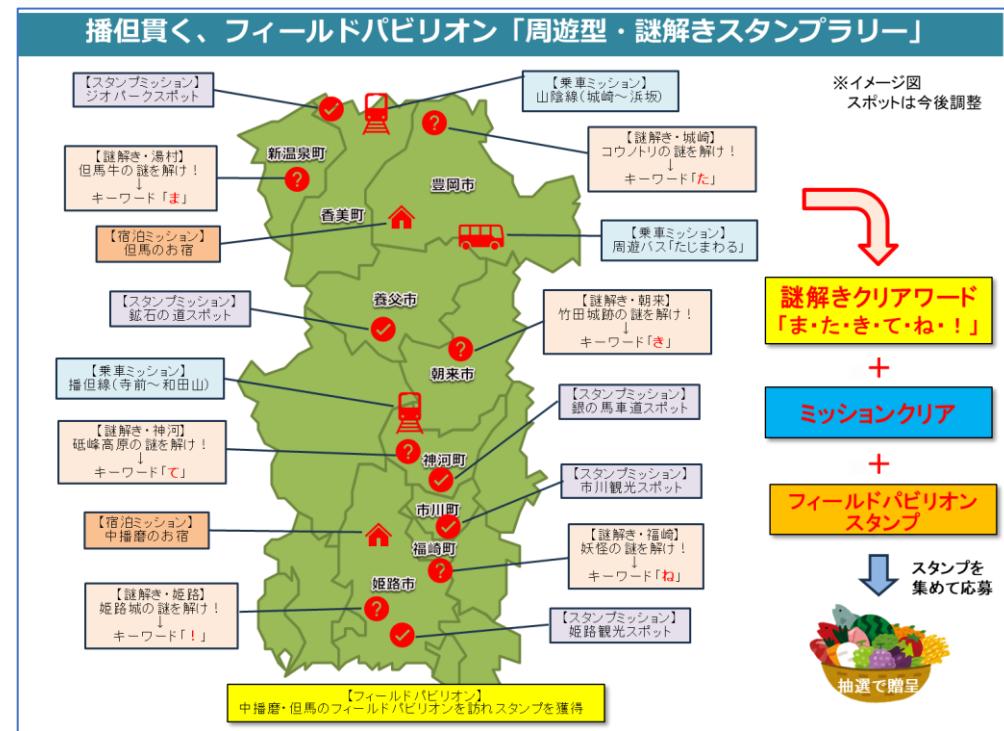
## 事業内容

### 1 周遊型スタンプラリーの実施（但馬県民局との連携事業）

- (1) 開催期間：令和8年9月～令和9年2月を予定
- (2) 実施個所：中播磨及び但馬地域
- (3) 実施内容：スマートフォンを利用したデジタルスタンプラリー  
「謎解きスポット」「ミッションスポット」「観光  
スポット」等を設定、スタンプ獲得数に応じて抽選で  
地域の特産品を贈呈

### 2 フィールドパビリオン等PR

- (1) イベント等へのブース出展による情報発信  
中播磨地域で開催するイベントに、ひょうごフィールド  
パビリオンや中播磨地域をPRするブースを出展
- (2) 地元生活情報誌を活用した情報発信  
ひょうごフィールドパビリオンの魅力を読者視点で取材・  
編集した記事を地元生活情報誌を通じて発信  
掲載回数：年3回程度（予定）



ブース出展イメージ（左）FPフェス（右）姫路港ふれあいフェスティバル

| 多様な人が行き交う「交流」中播磨

## 【新】「海業」に対応した妻鹿漁港の魅力発信：2,500千円

妻鹿漁港は、農林水産省が進める「海業(うみぎょう)※」の先進地として、直売所「JFぼうぜ・姫路まえどれ市場」や漁業見学船の発着場が整備されており、一般客の来訪も多い。こうしたポテンシャルを活かし、効果的な広報と一般来訪者の利便性を向上させる環境整備を行い、漁港来訪者や地域水産物のファンを確保し、地元水産物の消費を拡大する。

### 事業内容

#### ○ 地元水産物や漁港の魅力発信

発信力のあるマスコミ等向けの漁業体験ツアーを実施し、漁業や漁港の魅力発信を行う。

また、「JFぼうぜ・姫路まえどれ市場」など集客力のある施設への案内板の設置など一般来訪者の利便性をより向上させる。

こうした取組を通じ、地元水産物の消費拡大につなげる。



JFぼうぜ・姫路まえどれ市場



漁業見学船

#### ※ 海業（うみぎょう）

海業とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用し、地域のにぎわいや所得、雇用を生み出すことを目的とした事業や取組

「多様な人が行き交う「交流」中播磨

## 【拡】 クルーズ客船誘致活動の強化：3,000千円

令和7年度に造成した上質で特別感ある観光コンテンツを船社等にセールスし、**クルーズ客船の誘致強化を図るとともに**、クルーズ客船の入港時には**今後の再入港に繋がるよう効果的な歓迎行事を実施する**。また、**SOLAS条約に則った体制強化のための設備を整備し**、港の賑わいづくりを図る。

### 事業内容

#### 1 クルーズ船社等への誘致活動

令和7年度に造成した上質で特別感ある観光コンテンツをクルーズ船社や旅行会社等へセールスし、クルーズ客船の誘致強化を図る。

#### 2 クルーズ客船乗客等への効果的なおもてなしの提供

クルーズ客船の入港時には、乗客・乗員に印象に残るようなおもてなしを提供して今後の再入港に繋がるよう、効果的な歓迎行事を実施する。

#### 【新】3 SOLAS条約に則った体制強化による港の賑わいづくり

クルーズ客船寄港時にSOLAS条約（海上における人命の安全のための国際条約）に則った体制強化のための設備を整備し、一般市民の誘客による港の賑わいづくりを図る。



クルーズ客船入港時の歓迎式典



入港時の歓迎の様子

## II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

### 【拡】ものづくりを支える人材確保支援：4,500千円

中播磨地域を支えるものづくり産業の活性化・安定的な発展を図るため、地元企業への認知度向上や、採用力向上の取組み等を行い、地元中小企業の人材確保を支援

#### 事業内容

##### 1 高等学校の進路指導担当者と企業との交流会の開催

高等学校の進路指導担当者と地元企業の採用担当者が一堂に会し、生徒への進路指導や企業の採用活動などについて相互理解を深める場を設定し、地元企業への就職を促進



進路指導担当と企業の交流会

##### 【拡】2 中播磨地域の人材確保に向けた取組の実施

- ① 管内企業の人事担当者を対象に、「採用の成功」に向けた採用ブランディング力を高めるセミナー等を開催
- ② 地元高校生を対象に、管内臨海部のものづくり企業等の魅力を紹介するセミナーを開催
- ③ 中播磨地域の企業に関心のある大学等に出向き、地場産業企業等の魅力を紹介するアウトリーチ説明会を開催
- ④ 県内外の学生を対象に、工場見学や企業研究会を開催
- ⑤ 就職活動中の高校生・大学生等の保護者を対象に、地元企業への理解を促すセミナーや見学会を開催



大学生対象企業研究会

## II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

# 产学研官連携による「中はりま産業力」強化：1,600千円

中播磨地域の产学研官が連携し、技術交流の促進や雇用機会の創出を支援することにより、地域のものづくり力のより一層の強化を図る

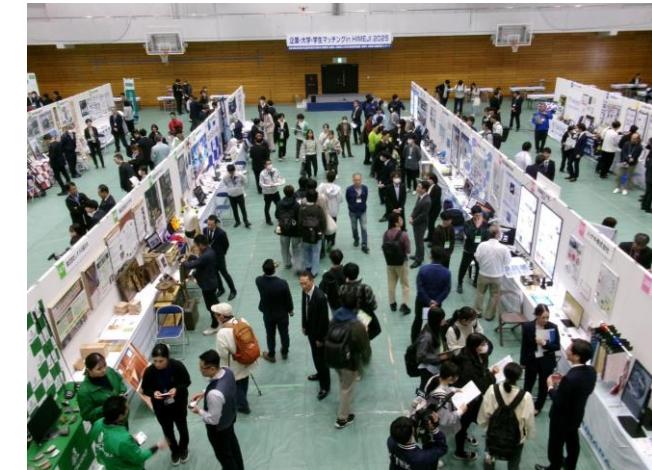
## 事業内容

### 1 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2026

地元企業の製品・技術や、大学の研究等の展示を行うことにより、学生に地元企業の製品・技術をPRするとともに、学生に出展企業の製品・技術情報や、企業との意見交換の機会を提供し、地元企業への関心を高めてもらうことを目的に、「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2026」を開催

### 2 ものづくり企業経営力向上事業

ものづくり企業を取り巻く環境は、カーボンニュートラル、SDGsの視点、循環経済（サーキュラーエコノミー）など劇的に変化している。これらの課題に対応するためには、最新のテクノロジーや社会課題等を習得するとともに、企業同士、企業と大学等研究機関との連携を強化することが重要である。そこで、最新の経営課題への対応方法を学ぶセミナーや意見交換会を開催



企業・大学・学生マッチング in HIMEJI



ものづくり企業経営力向上セミナー

## II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

### 【拡】次世代につなげる播磨の水産業：3,700千円

地域の主要水産業である二枚貝養殖業等の持続可能な生産体制の確立を図るため、現在の環境に合ったクマエビの水産資源を増やす取組や、マガキ・アサリ等の増養殖生産における新技術の導入を推進するとともに、カキ養殖で発生したカキ殻を活用した漁場の底質改善に取り組み、水産資源の増大を図る。

#### 事業内容

##### 【新】1 播磨の特産魚の開発支援

増殖の期待できるクマエビの放流効果を高める取組みや食害魚であるクロダイの駆除及び利用の取組み、新技術を用いた養殖方式の導入、アサリの新たな種苗生産のほか、新たな新規養殖魚種のチャレンジを支援し、漁家の経営安定と所得向上を目指す。



カキ殻散布



シングルシードマガキ養殖

##### 2 カキ殻を活用した持続可能な漁業生産へ向けた検討

水産資源の回復による持続可能な漁業の実現に不可欠な底質改善を目指し、カキ養殖で発生するカキ殻等を海底に散布することにより、ゴカイなどの底生生物の発生を促す実証事業を実施

## II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

### 中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」：2,396千円

網干メロン、ゆず、葉物野菜など地域を象徴する農産物のブランド力を強化し、消費者や観光客に向けたPRを実施する等、農業生産振興だけでなく地域の活性化につながる取組を支援

#### 事業内容

##### 1 実需者と生産者の連携活動支援

実需者（飲食店や観光業者等）と生産者が専門家の知見などを活用し、中播磨地域農産物の価値を消費者等へ訴求するために実施する活動を支援

##### 2 地域農産物生産体制の強化

生産・加工体制の強化や、生産技術等の改善による生産性の向上のほか、担い手づくりを支援

##### 3 中播磨地域農産物のPR

デジタルブック、パンフレット等のPR資材を作成



農産物PRパンフレット



網干メロンのPR



安富ゆずまつり

### III ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨

## 農福マッチングプロジェクト：4,466千円

人手不足が課題となっている中播磨地域の農業者等と、仕事を探している福祉事業所等や就労に不安を抱える人たちをシステムでマッチングし、農福連携事業の推進と地域交流の活性化をめざす

### 事業内容

#### 1 農業↔福祉の協力体制づくり

農業者、福祉事業所、行政等を構成員とした中播磨農福連携議会において、定期的に意見交換を行うほか、講演会等により、農業・福祉双方への理解を深める機会を設ける。

#### 2 マッチングシステムの効率的な運用

「農福マッチングサイト」をワンストップ型のアプリで運営することで、農業者のタイムリーな人材確保と障害者等の雇用機会の創出につなげる。

#### 3 事業の継続と発展に向けた取組

農福連携技術支援者を農業者、福祉事業所等へ派遣し、事前の体験やマッチング後のフォローを実施

農福マルシェ、ユニバーサル農園等の開催により取組のPRを行う。



農福マルシェ



ユニバーサル農園

## IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨

### 【拡】重大家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）対策の推進

県民の安全安心を守るために、県だけでなく管内市町や関係機関とも連携し、高病原性鳥インフルエンザなどの重大家畜伝染病の発生に備えるとともに、発生時には迅速な対応と被害の拡大抑止を図る。

#### 事業内容

##### 1 発生への備え（連絡会議や机上演習等の開催）

流行期を控える秋頃に、中播磨地域重大家畜伝染病連絡協議会を開催し、発生を想定した防疫措置対応や、各事務所の具体的な役割分担等について確認する。また、県民センターに加えて、農林水産部畜産課や姫路家畜保健衛生所が参加する机上演習や防疫作業員向けの防護服着脱訓練等を実施



##### 【拡】2 発生時の対応（迅速な殺処分・焼却）に備えた体制整備

中播磨地方本部、本庁関係課、発生農場間の連絡調整が円滑に行えるよう、Teams（チームス）を活用し、情報伝達の確実性や即時性を高め、関係職員の負担軽減につなげた。本庁と連携し、こうした新たな取組を全県に共有する。



防護服着脱訓練の様子

## IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨

# 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業：2,000千円

古くから豊かな自然環境と共生してきた中播磨地域には、歴史的・文化的・技術的価値の高い農業水利施設が数多く存在している。次世代を担う子どもたちへそれらを継承しふるさと意識の醸成を図る。

## 事業内容

### 1 概要

令和6年度に西光寺野疏水路（さいこうじのそすいろ）が世界かんがい施設遺産に登録・認定されたことを受けて、これを核とした農業水利施設の価値を啓発

### 2 P R用資材の作成

世界かんがい施設遺産登録に係るP R 資材の作成

### 3 施設の整備

案内看板の設置やベンチ等の簡易な施設の整備

### 4 学習会等の開催助成

子どもたちを対象にした学習会や、地域遺産として施設の役割を啓発するためのウォーキングイベントの開催を支援



ため池教室（座学）



記念碑除幕式の様子

